

ネイティブバチルス・セレウス・スフィンゴミエリナーゼ

Cat. No. NATE-0672

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	スフィンゴミエリンホスホジエステラーゼは、スフィンゴ脂質代謝反応に関与する加水分解酵素です。SMaseはDNase Iスーパーファミリーの酵素の一員であり、スフィンゴミエリン(SM)をホスホコリンとセラミドに分解する役割を担っています。SMaseの活性化は、細胞ストレスに誘ったセラミドの生成の主要な経路として提案されています。
用途	スフィンゴミエリナーゼは、HIV-1付随タンパク質Nefとのアクチンの相互作用を評価する研究に使用されました。スフィンゴミエリナーゼは、リポソーム輸送システムの品質管理ツールとしてX線散乱を調べる研究にも使用されました。
別名	スフィンゴミエリンホスホジエステラーゼ; EC 3.1.4.12; 中性スフィンゴミエリナーゼ; 9031-54-3; スフィンゴミエリンコリンホスホヒドラーゼ; スフィンゴミエリナーゼ; SMase

製品情報

由来	バチルス・セレウス
形態	タイプI、緩衝された水性グリセロール溶液、50 mM Tris-HClを含む50%グリセロールの溶液、pH 7.5; タイプII、リン酸カリウム緩衝塩と安定剤を含む凍結乾燥粉末。
EC番号	EC 3.1.4.12
CAS登録番号	9031-54-3
活性	> 100 ユニット/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 7.4の条件下で1分あたり1.0μmoleのTNPAL-スフィンゴミエリンを加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C
------	-------